

令和4年(2022年)(1月～12月)活動報告

◆研究所の活動◆ (主なもの)

○調査研究活動

市の持続的な発展と計画的な市政の推進に資するため、市を取り巻く社会経済活動の変動を見据えながら、中長期的視点に立った都市政策に関する調査研究を行っています。

令和4年度(2022年度)は「健康と都市政策」をテーマに、以下の研究を行っています。

- ・豊中市における地域づくりと健康づくりに関する調査研究—社会的処方視点の視点をふまえて—
- ・豊中市における孤独・孤立に関する調査研究
- ・豊中市における健康データの利活用に関する調査研究

▶研究会・勉強会等

- ・[5月] 関西・自治体シンクタンク情報交流会参加 (Zoom 開催)
- ・[4月・12月] 産業連関表活用に関する勉強会 (Zoom 開催、講師：(株)経済計量研究所代表取締役 前川知史さん)
- ・[7月・12月] 多文化まなびあいネットへの参加 (研究員 比嘉康則)
- ・[11月] ISFJ 日本政策学生会議論文審査に参加 (主任研究員 石村知子)
- ・[11月] 自治体シンクタンク研究交流会議参加 (於 東京都港区) (研究員 比嘉康則・平田誠一郎)

○普及啓発事業

豊中市政資料やまちづくり、行政経営など、都市政策全般に関わるさまざまな文献データや関係機関の資料などを収集し、市民や市職員に提供しています。また、他の自治体や大学機関からの視察などもあり、意見交換、勉強会などの交流も行っています。

▶令和4年(2022年)の意見交換会等

- ・[1月・10月・12月] 大阪大学公共政策研究会
- ・[9月] 京都先端科学大学「地域課題解決ワークショップ」にファシリテータ参加 (主任研究員 石村知子)
- ・[9月] EBPM ミニ講座《第1回》「人口データを活用した政策検討」(講師：研究員 比嘉康則)《第2回》「交通政策と Maas」(講師：Osaka Metro 西村慶友さん)
- ・[8月・11月・12月] 行政課題セミナー (総務部人事課との共催事業)
「社会的処方セミナー『with コロナのつながり・コミュニティづくり』」(アドバイザー：大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室講師 西岡大輔さん)

○データバンク事業

都市政策、地方自治に関する文献や資料を収集しています。蔵書リストはホームページで公開しており、市民や職員へも貸出しています。(令和4年(2022年)12月現在で、書籍約1990冊、雑誌約2810冊を所蔵)

○人材育成事業

市職員の政策形成能力の向上を図る取り組みや大学インターンシップ生の受け入れを行っています。

- ・研究所インターンシップ受け入れ1名(京都女子大学)インターンシップ生が関心のあるテーマについて調査研究を行い、成果を発表しました。
- ・4大学合同ゼミ受け入れ(10月～12月)甲南大学(マネジメント創造学部 金坂成通ゼミ)

ミ)、京都産業大学(経済学部 倉本宜史ゼミ)、兵庫県立大学(大学院社会科学研究所 橋本浩幸ゼミ)、新潟大学(経済科学部 小川顕正ゼミ)の学生34名が合同で、市内をフィールドに3ヵ月にわたって調査研究を行い、12月に政策提言を行いました。



写真1 研究所所員とインターンシップ生



写真2 講座・街歩き・グループ発表

◆調査研究報告会の開催◆

(総務部人事課との共催事業)

目的：令和3年度(2021年度)に実施した調査研究の報告を行い、都市政策に関する問題や本市の抱える課題等について市民や職員の認識を深め、市民の市行政に対する理解と市職員の政策形成能力を高める機会とします。

日時：令和4年(2022年)7月8日(火)
14:00～16:00

会場：豊中市役所別館及びZoomによるオンライン配信

【研究報告1】「少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する調査研究Ⅳ」

研究員 比嘉 康則

自治体にとって、的確な人口の把握は政策検討の基礎的な資料です。そこで、令和2年国勢調査・住民基本台帳データをもとに、豊中市人口動態の現状把握と将来人口推計手法の検証を行いました。また、当研究所が平成26年度に作成した豊中市将来人口推計マニュアルの改訂

版を発行しました。

【研究報告2】「南部地域活性化推進に関する調査研究」

研究員 平田 誠一郎

市の南部地域活性化推進に寄与するため、市民2,000人を対象に地域のイメージや人との関わりについてのアンケート調査を実施し、地域で居場所づくり活動等に携わる方へのインタビュー調査を行いました。これらの調査結果から南部地域の魅力について考察しました。

【研究報告3】「豊中市のアンケート調査の活用に関する調査研究」

主任研究員 石村 知子

豊中市が実施しているアンケート調査の実態と課題を整理し、市民のニーズや意見をより効果的に把握し、アンケート調査を政策立案に活かしていくための方策を検討しました。

【令和3年度(2021年度)とよなか地域創生塾(第5期)活動報告】

松田 泰郎

企画力や実践力を身に着けることをめざした地域人材育成プログラムです。詳しい報告は次ページをご覧ください。